

## どうする、どうなる幕張ベイタウン

広大な空き地にヒバリがさえずっていたベイタウンもいつの間にかあちこちに建物が建ち、“草原”の数も少なくなってきた。このペースで開発が進めば5年後くらいにはどんな姿になっているのだろう。そんな疑問からあちこち取材してみた、5年後のベイタウン、そこには明るい希望と不安が同居する。 【松村】

### 見えてきた開発の最終形

あれ、こんなところにもう建物が建っている。ここには建築計画の看板が。最近ベイタウンの周りを歩いてみると、いろんなところで建築がはじまっている。今一番ホットなのは海側のエリア(打瀬3丁目)だ。21番街、20番街のオープンにつづいて、現在はマリフォートと都市公団のH4街区の建築工事が進んでいる。H4街区番街のオープンは平成15年、マリフォートの入居は平成14年、15年の予定だ。このエリアにはさらにM5-2(22番街、都市公団)が平成16年の入居を目指して計画中だ。また、遅れていた16番街横のM3-1街区(14番街、県住宅供給公社)もいよいよ着工される。

海側はずいぶん賑やかになるなあ、と思っていたら花見川の側にも急に工事用の仮囲いが立っていた。12番街横のH6街区だ。ここではすでに近隣への工事説明を終え、工事が開始されている。H6街区の入居は平成15年の予定。

ここまで建物が建つと打瀬2丁目と3丁目の開発はほぼ一段落、空き地として残るのは京葉線沿いに「幕張ベイタウン」の大看板の立つ、広大な打瀬1丁目草原だけになる。しかし行き場をなくしたヒバリや野ネズミにとっては、ここも安住の地ではない。このエリアは富士見通りを挟んで2つの街区に分けられ、東側にはSH3街区、西側にはSH4街区が、それぞれ平成15年と16年の一部入居を目指して計画されている。SH3街区では、すでに工事予定の看板が設置されている。

これらすべての街区の入居が完了するとベイタウンはどうなるのだろう。千葉県企業庁では5年後の平成19年3月末の供給戸数を7,985戸、人口を22,358人と予測している。今年度(平成14年3月末)の実績がそれぞれ4,348戸、11,751人なので、今後5年でベイタウンは一挙に1.8倍から1.9倍に膨張する訳だ。街開き以来の開発のスピードは急激に加速される。今まで8年間に起きた変化よりも更に大きな変化が待っていることになる。

### どうする打瀬第3小学校

変化のひとつは学校新設問題だ。現在打瀬小学校と海浜打瀬小学校の児童数はそれぞれ628人と636人。打瀬小学校では現在教室はすべて使われているので、来年度の児童増については一昨年同様プレハブ校

幕張ベイタウン開発予想図



舎で対応することになる。更に、再来年には海浜打瀬小学校も満室となる。しかし海浜打瀬小学校にはプレハブ校舎を建てる空き地はない(校庭に建てれば別だが)。そこで浮上するのが打瀬第3小学校(仮称)だ。開発予想図上にもA、B、Cと3カ所の学校予定地が残されている。しかし、人口が急増したから学校をもう一つ造れば良いという話ではない。30年程前、千葉市では人口増に合わせて小中学校を次々と建設してきた。〇〇第4小学校、第5小学校というのはその名残だ。しかしこれらの小学校では今児童数の減少で空き教室ばかりが目立っている。明らかに急激な開発がもたらした歪みだ。ベイタウンも同じ道をたどるのだろうか。

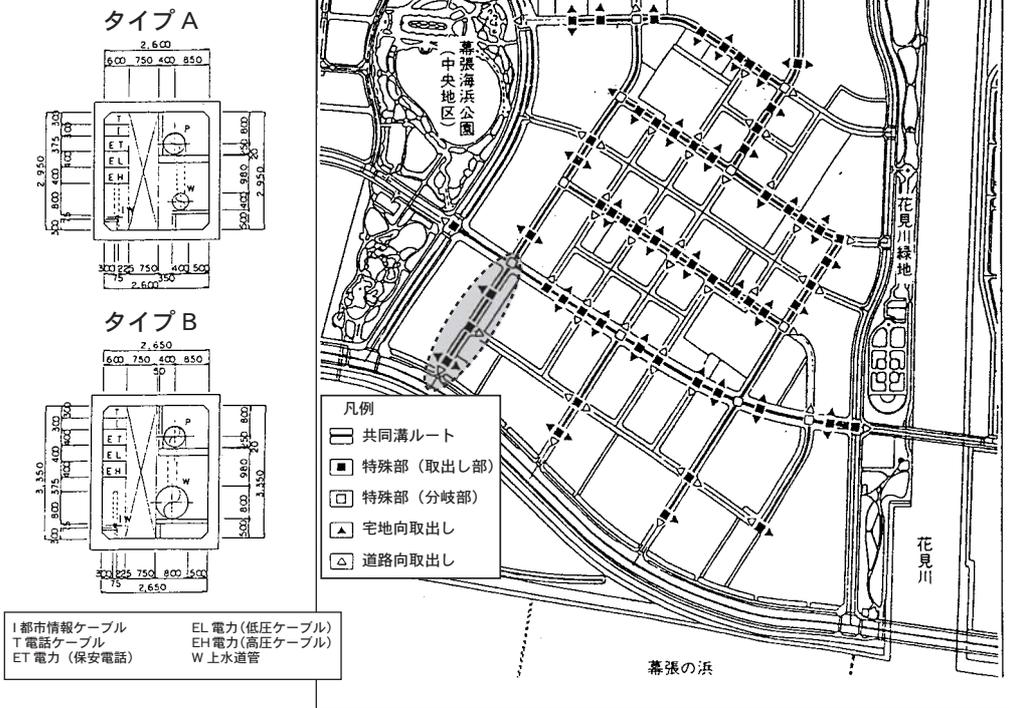
第3小学校を造るなら、将来の人口モデルを考えたベイタウンらしい小学校を考えたい。そんな声も聞こえて来そうだ。例えば都内では試みられている、ケア付きのマンションと小学校が一体化した建物という考えもある。しかし未だに第3小学校をどうするかという話は聞こえてこない。タイムリミットの末にどこにもある小学校が造られるのだろうか。

学校問題は急激なベイタウンの街づくりで表面化してきたひとつの歪みにすぎない。開発の終着点が見えてきた今、新しい街づくりの方向性について、住民を含めた関係者が同じテーブルにつき、情報を共有して話し合う時期が来ている。



# のぞいてみました！ ベイタウンの地下

共同溝のルートと標準断面(資料:千葉県企業庁)



地上ではどんどん開発が進んで空き地が消えつつあるのに対して、地下はいったいどうなってるのでしょうか。電柱・電線のない街として景観面での評価も高いベイタウンは、地下に「共同溝」をもっているはず。企業庁の主催で6年前に実施したベイタウンまつりで見学会に参加して、現場をご覧になった読者もいるかもしれません。

「共同溝」というのは、道路の下を走るトンネルです。道路の下に埋設する管や空中を巡らせる電線などを、まとめて一つの穴の中に束ねて通します。地下に埋設した管を、道路を掘り返すことなく維持管理できるのが利点のひとつです。

ベイタウンの中には出入り口が3箇所あります。クリーンセンターの前と、海浜打瀬小学校の向かい、打瀬中学校の少し海側です。地下鉄の出入り口のようなドアの付いた“小屋”が、それです。

ドアを開けると、いきなり地下に下りていく階段が現れます。下りきると、2階くらいの高さのトンネルです。黒い水道管と白いゴミ空気輸送管の2本が上下に並んでいるのがまず目に入ります。水道管は太さ1mほど。意外に太いものです。ゴミの輸送管は案外細いもので、水道管の半分くらいでしょうか。これからは大きなゴミは捨てないようにしないと、と思わせるほどです。

このトンネル、驚いたことにもうほとんどのルートが完成済みです。残すは、最後の一区間(図左下の破線枠内)だけ。生活基盤の通り道は一足早く整備を終える予定です。

【茂木】

## ワールドカップがやってきた

1ヶ月に渡り熱戦・熱狂の続いた2002FIFAワールドカップが幕を閉じた。韓国がベスト4、日本がベスト16に躍進したこともあり、日韓両国では、ワールドカップが社会現象となったと言っても過言ではないだろう。自国での“世界規模のサッカーのお祭り”に、自らいろいろな形で参加することで楽しめたのではないだろうか。ここでは、ベイタウン住民から集めた、ワールドカップの“こぼれ話”をお伝えする。

**日**本でのチケット入手が困難だったため韓国で観戦した。ハングル語は全く読み書きできないくせに、「隣の国だし、ワールドカップ期間中だから、何とかなるだろう」と甘い気持ちで臨んだが、道が聞けない、料理が注文できない、でまいった。こんなに近くて同じような顔をした民族なのに、改めてショックだった。ワールドカップをきっかけに、両国の“違い”を認識することができた。

**韓**国での試合で驚いたのは、サポーター席のワンプロックを、対戦国のユニフォームを着た韓国人の一人が占め、盛んに応援していたこと。ただし、開催国として大会を盛り上げようと、例の「テーハミンググ、ちゃちゃっちゃちゃっ」のリズムのまま、「パーラグアイ」とか「エースパニョール」とやるものだから、対戦国固有の応援リズムやコールまでかき消されてしまっていたのは少し残念だった。

**日**本でも韓国でも、日本以外のひいき選手(ジダンとか、ベッカムとか)のユニフォームを着た

日本人が非常に多かった。外国人から見れば、自国以外のチームを応援する日本人の姿は、少し不思議に見えたかも知れない。一方で、ユニフォームをきっかけに、外国人から声をかけられる機会も多く、交流に



▲アルゼンチンサポーター



▲アイリッシュビレッジでのコンサート。後ろは地元小学生が描いたアイルランドチームの似顔絵

は役立っていたようだ。外国人サポーターは、本当に思い思いの格好で、楽しみながら応援していた。ワールドカップの楽しみ方を知っている感じ。そんな人たちと一緒に応援して、自分まで気持ちが学生のときのように若返った。

**千**葉市のボランティアに「自国でのワールドカップなんて一生に一度だし、自分でも役に立てるのならば。あわよくば、選手のサインがもらえるかも」と応募した。しかし、ボランティアが集まりすぎて“だぶつき”気味となり、駅の案内所に5人も配置され、手持ち無沙汰だった。それでも、自分から迷っていきそうな外国人を見つけては、無理やり(!?)お世話をした。

**ア**イリッシュビレッジで観戦したが、お高いギネスビールを並んで買って飲んでしたのは日本人ばかり。外国人は、コンビニで買って来た缶ビールを飲んでいたのには感心した。

**韓**国で試合後に食事を取ったとき、たまたま同席した外国人が、一人は韓国で働くエクアドル人、もう一人は母方がクロアチア人のカナダ人で、自分が唯一日本国内で見たカードの対戦国どうしだったという偶然は、ワールドカップならではのことだと思った。

次回は、2006年のドイツでのワールドカップ開催となる。“本場”ヨーロッパでの熱戦・交流が今から楽しみである。 【板東】



▲満員の水原スタジアム 結構日本人が多かった

# 公民館で暫定の運営ルール決める

## <地域団体>

対象施設：ホール&講習室（土日）  
 対象団体：▽自治会▽コミュニティコア研究会  
 ▽青少年育成委員会▽青少年相談員▽PTA▽保護者会▽子ども会▽子ども会育成委員会▽ボーイスカウト▽ガールスカウト▽海洋少年団▽スポーツ少年団▽社会体育振興会▽老人クラブ▽シニアクラブ▽民生委員▽児童委員▽母子福祉推進員▽地域コミュニティづくり組織▽地域食生活改善推進委員▽地域で奨励する文化団体  
 申し込み：6カ月前から2カ月前。1カ月前から5日前までは一般サークルと同じ。

## <公民館サークル>

対象施設：工芸室&調理室&和室&ホール&講習室  
 対象団体：公民館所定の様式で「公民館サークル届出書」を出したところ。届出書は、①運営懇談会の意見を聞く②事実と反する記載があったときは定期利用は取り消す③翌年3月までを有効期間とする——との条件の下で出す。  
 申し込み：利用前月のはじめから5日前まで（利用が重なる場合には話し合いか抽選）。年度内は月2回の継続利用も可能に。

## <一般サークル>

対象施設：工芸室&調理室&和室&ホール&講習室  
 対象団体：「使用制限」に該当しない団体（「使用制限」の対象は、①公序良俗に反する②営利を目的とする③特定政党・宗教の支持・宣伝・反対——などのもの）  
 申し込み：利用前月のはじめから5日前まで。空き状況を見ながら必要に応じて申し込む。

打瀬公民館は6月25日、ホールや講習室といった公民館施設を貸し出すときの優先関係を定めた運営ルールをまとめた。貸し出し先となる団体を、①地域団体②公民館サークル③一般サークル——の三つに分けたうえで、公共性の高い団体ほど優先順位を高くしたのが特徴だ（別項参照）。公民館では9月利用分から年度末まで、このルールを適用する。

今回定めたルールではまず、公民館施設の貸し出しにあたって、個人の利用や営利目的など条例上の「利用制限」に該当する利用を排除すると同時に、公民館所管区域（中学校区）の住民、つまりベイタウンの住民を優先すると明らかにした。そのうえで貸し出し先となる団体の中に「公民館サークル」という

位置付けを設け、貸し出しにあたってほかのサークルより優先する考え方を示した。

「公民館サークル」とは別項で示したように、公民館に一定の書式で団体のあらましを届け出たところ。団体運営の民主性・公開性や非営利性などが求められる。届け出をすれば、年度内は月2回までの継続利用に道が開けるのでほかに比べて有利になる。

今回のルールを定めるにあたって公民館では、地域団体代表や利用団体代表など10人で組織するや運営懇談会を6月に正式に立ち上げ、計2回開催。たたき台を示しながら議論を交わしてきた。2回目の懇談会を控えた6月16日には、自治会連合会コミュニティコア研究会（下川正晴代表）が利用者の声を広く反映させる目的で、「公民館の運営を考える会（仮称）」を開いた 【茂木】

●コミュニティコア研究会が6月16日に公民館講習室で開いた「公民館の運営を考える会（仮称）」には50人近くが詰めかけた



# 夏休みプール開放とラジオ体操

今年のプール開放は、海浜打瀬小学校で行われます。そこで詳細について、「プール開放運営委員会」の鎌田会長にお聞きしました。「今年は初めて、海浜打瀬小学校のプールを使っでの開放です。両方の小学生が、久しぶりに同じプールで仲良く遊ぶ機会です。また、親子のコミュニケーションづくりと体力づくりを、開放の目的としています。楽しい親子開放のプールになるよう期待しています」とのことでした。申し込み方法などは以下のとおりです。

## ●開放の対象者

ベイタウン内居住の「小・中学生の親子（祖父母も可）参加」とします。自分の子どもの友達一人を連れてきてもよいのですが、その子については引率者が全責任を持ってください。水深の関係で幼児はプールに入れません。海浜打瀬小、打瀬小以外の方も参加できます。ご近所の子どもさんにも、声をかけてあげてください。

## ●申し込み方法

希望者は、小学校から配布された「親子開放プール申込書」に必要事項を記入し、レクリエーション傷害保険金一人当たり100円を添えて申し込んでください（1回でも15回でも同額、一人100円）。

## ●申し込み受付日と場所

7月8日、9日 海浜打瀬小学校のピロティ（9時～11時）  
 7月10日、11日 打瀬小学校の交流広場（体育館入口、9時～11時）。  
 どちらで申し込んでもかまいません。  
 （子どもさん経由でも結構です）  
 ☆申込書と100円×人数分をお忘れなく。

## ●開放の日程（今年は7月のみです）

午前は9時～12時まで、午後は1時～4時まで。雨天、気温が25℃以下の時などは開放を中止します。入口の札で当日確認ください。

日	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
曜日	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
午前	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
午後	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

## <注意すること>

☆必ず水泳帽をかぶる

☆プールの前後にきちんとシャワーをあびる

☆トイレにいったら腰洗い槽を通る

↓水深、深い所で120cm  
↑浅い所で80cm

☆親子（または祖父母と）一緒に参加、子どもだけの参加はできません

<その他>体調が悪い時は参加しない  
プールサイドは走らない

## ラジオ体操について

ラジオ体操は、打瀬小学校の校庭で行います。7/20～7/31と、8/21～8/31までの月曜から土曜日まで。（※注意 日曜日はありません）朝の6時半からです。皆さん、硬くなった体をほぐしに行きませんか。 【浜田】



長崎大学歯学部出身のお二人。憲弘さんは矯正歯科の専門家、明子さんは予防歯科の経験も豊富。



治療前にカウンセリング。お口の状態を説明します。

わたしたち、ベイタウンで開業しました！  
どうぞヨロシク。

歯科医の吉田憲弘さん・明子さんは共に32歳の若いカップル。ベイタウンのまちづくりと、公園でのびのび遊ぶ子どもたちの姿に「未来」を感じ、自分たちの未来をこの街に託すことにしました。  
二人の夢は「一生お付き合いいただける歯医者さん」。  
憲弘さん明子さん自身、子どもの頃に矯正してもらった歯医者さんとの出会いがこの道に進むきっかけになったこともあり、患者さんの歯の健康にとって幸せな「出会い」となるような医院づくりをめざしています。

幕張ベイタウン矯正歯科

なるべく抜かない治療

虫歯をつくらない予防

「矯正歯科」というと、歯並びをきれいにするだけと思われがちですが、「正常な噛み合わせ、健康な歯ぐき、虫歯経験ゼロ」を目標に、矯正治療を含めた予防にも重点をおいています。一人ひとりにオリジナル予防プログラムを作成してサポート。歯並びがきれいになれば歯磨きがしやすくなり、虫歯・歯周病の予防にもつながります。



歯並びをよくするには、顎の成長発育がとても重要です。大切な歯をできるだけ抜かずにすむように、乳歯からの管理を行っています。

歯の裏側に装置をつける「見えない矯正」も行っています。大人の方もお気軽にご相談ください。



お電話でご予約ください。

TEL.043-213-6822

診療時間：

平日 10:00 ~ 13:00、14:30 ~ 19:30

土・日 10:00 ~ 13:00、14:00 ~ 18:00

休診日：火・祝日

幕張ベイタウン矯正歯科

美浜区打瀬 2 丁目 1-2 グランパティオス公園西の街 4 番館 1F

◆車でお越しの方、駐車場のご案内をいたします。

◆小さなお子さんをお連れの方には、保育資格をもったスタッフが対応しますので、事前にご相談ください。

## 砂原正行さん

敵の少ない人だ。少ないというよりも居ないと言った方がいいかもしれない。他人の言い分に耳を傾け多面的にものを見る。「バランス感覚」だそうだ。敵を作らぬせいか、この人の周りには人が集まる。シニアクラブ会長、公民館運営協議会委員、オアシス編集委員、囲碁クラブ会長、菜の花クラブ副会長……。砂原さん抜きではこの街のシニアの活動はここまで活性化しなかったと言っても過言ではないだろう。しかし、砂原さんがご自分で旗を振って立ち上げた会はない。「手伝っているうちに……。というより他人が苦勞しているのを見ると放っておけなくて、つい手を貸して深入りすることになってしまった」結果だそうだ。

シニアクラブ会長で知られる砂原さんが、意外にもこの人には中高生の「友人」

が多い。打瀬中学校でのAT講座の講師をお願いしたときのことだ。「昭和一桁世代の戦中戦後の体験談を」とお願いした。地味なテーマだったのか参加した生徒は少なく、中学の茶室で生徒数人と文字通り膝を交えて話をした。後に石原校長(当時)は、「砂原さんの話を聞いて、猛烈に感動した生徒がいた」と何度も感慨深げに語っていた。会長を務める囲碁クラブには今も中高生が10人近くが通ってくる。

砂原さんは山口県の岩国市出身。昭和6年の生まれだから、終戦は中学生のときだった。戦争中、軍の憲兵をしていた父親は、終戦になって米軍のMP(ミリタリーポリス)に連行された。ジープに乗せられて行く父の姿を見て、「これで親父とはもう会えないかもしれない」と思ったという。岩国は原爆が投下された広島市にも近く、被爆した人たちが岩国にも運ばれてきた。勤勞奉仕で病院に行った母親は、家族の食べるためにとっておいたふかし芋を病院に持って行き、被爆した人にあげたが、食べながら息を引き取る人がほとんどだったという。MPに連行された父親はその後しばらくして帰ってきたが、戦争犯罪人として公職に就くことができず、何年か「タケノコ生活」を余儀なくされた。タケノコ生活とは、タケノコが皮を一枚一枚はがしながら生きて行くように、着ているものや家財道具を売りながらつないでゆくという

生活だそうだ。一家の収入がないにもかかわらず、韓国や満州からの引き揚げ者で、家には20人ほどが一度に生活していた。砂原さんの中学から高校という多感な青春期はそんな時代だった。

6人兄弟の長男だった砂原さんは高校を出ると生活のために進学を諦め、瀬戸内海を挟む対岸の新居浜の会社に就職した。しかし、勉学の念やまず、2年ほど勤めた後東京の大学に進学する。大学では工業化学を学んだ。

大学を出た昭和30年はナベ底不況のはしりで大学を出ても就職の口はなかったが、それでも運良く一部上場のミヨシ油脂に入社できた。以来同社を退職し、更に勤めた関連会社の社長を退くまで40年以上、仕事に明け暮れた生活だった。

学生時代の下宿や仕事での転勤で引っ越しは20回以上を数える。二人の息子さんは関西勤務時代に生まれたが、上の息子さんが中学1年の時にベイタウンの隣町、真砂に越してきた。今はその二人のお子さんも一人は国立大学の教授、もう一人は一部上場企業社員として社会の第一線で活躍する。お二人とも技術屋だそうだ。

子育て真っ最中の記者として、子どもを立派に育てる秘訣を……。お願いした。「教育はすべて女房に任せ、進学も就職も口を出したことはない。強いて言えば、好きなことだけを一生懸命やらせた」。親父はあまり細かいことに口を出すな、ということか。

この取材をするにあたって、砂原さんから『私の幾山河』と題する一文をいただいた。引用してこのインタビューの締めくくりとしたい。

「平成12年、68歳でリタイアするまで43年間の勤務を顧みて、私たちの世代に共通した会社人間として、家庭を顧みる暇もなく働きバチだったと過去の幾山河を認識している。

古希を過ぎ、今は住んでいるベイタウンの街で多くの方々と交流しながら、健康で心豊かな時を静かに過ごしたいと願っている」  
【松村】



### こどもの風景



# コア Core かわらばん

## 「中高生のための楽しいクッキング講座」

中学生、高校生のみなさん、土曜日においしい料理をつくりましょう。7月のメニューはスペイン料理。本場仕込みの先生とお友達と楽しい時間を過ごしましょう。これから毎月第4土曜日の午前10時から公民館でクッキング!!

### 7月のクッキング講座

日時：平成14年7月13日(土曜日)10時～12時

場所：打瀬公民館 調理室(幕張ベイトウン・コア内)

対象・定員：中高生の男女 16名

講師：法月澄子さん(5番街在住)

材料費：1回1,000円以内(申し込み時に毎回集めます)

内容等：スペイン料理(パエリア、クッキー)  
申し込み：7月2日(火曜日)午前10時から電話で受け付けます。定員になり次第締め切り。

「中高生のための楽しいクッキング講座」は毎月第4土曜日(8、12月は休み、7月は第2土曜日)、午前10時～12時開催です。受付は毎月1回ごと、今回は7月分だけの申し込みです。

受付とお問い合わせ：打瀬公民館

電話：296-5100



中高生のための楽しいクッキング講座 (6/23)

### クッキング講座の予定

実施日	内 容	材料費、 用意するもの
7月13日	スペイン料理 パエリア、クッキー	材料費： 教材費： 毎回1,000円以内  毎回持ってくるもの エプロン、三角巾 (バンドナ、スカーフでも可)、ふきん、 手拭きタオル、上履き、 ゴミ袋、密封容器(余った場合の持ち帰り用)
9月	フランス料理 コック オ バン(鶏のワイン煮)、揚げシュー	
10月	中国料理 ジャージャー麺、ごま団子	
11月	クリスマス料理	
1月	バレンタイン チョコレートケーキ	
2月	ひな祭り いちごのケーキ	
3月	新しいスタートのために パーティー料理、クレープ	

## 藤原真理チェロコンサート

日程：9月22日(日)午後予定

出演：藤原真理(チェロ) 黒田亜樹(ピアノ)

曲目案：

武満徹「オリオン」、メンデルスゾーン「チェロソナタ第2番二長調作品58」、バッハ「アリア」、バッハ・グノー「アベマリア」、エルガー「愛の挨拶」、シューマン「トロイメライ」、ファリア「スペイン民謡よりポロ・ポタ」、ポッパー「タランテラ」、サンサーンス「白鳥」

●曲目の簡単な解説、聴きどころ、楽器の歴史などの話を随時、数カ所に入れて進めるトーク付きコンサートです。

## クリスマスコンサート「サウンド・オブ・ミュージック」

映画やミュージカルで多くの人に親しまれている「サウンド・オブ・ミュージック」をモチーフにして、ベイトウンの子供たちが歌、合唱、ダンス、楽器演奏などを行います。本番や練習を通じて、音楽の楽しさを知ってもらおうとともに、地域交流も深められればと考えています。

主催：クリスマスコンサート「サウンド・オブ・ミュージック」実行委員会(仮称)

日時(予定)：12月14日(土)リハーサル

15日(日)本番

場所(予定)：コミュニティコア・ホール

主な出演団体：

- ・一般公募のベイトウンの小中高生(歌のアンサンブル、合唱、ダンスほか)
- ・ベイトウン・ジュニアハンドペラーズ(ハン

ドベルグループ)

・ダンス・スケッチ(ジュニアダンスサークル)

・コア・チェンバーシンガーズ(混声合唱)

## ベイトウン音楽祭

みんなでファツィオリを弾こう!

出場者募集

日時：平成14年10月20日(日)

午前リハーサル

午後本番

場所：ベイトウン・コア音楽ホール

出場対象：ベイトウンおよび近隣在住の方

参加料1,000円/人・組

入場料：無料

主催：ベイトウン音楽愛好会

コアのホールにピアノを入れる会

コミュニティ・コア研究会

ピアノ演奏を中心に、バイオリン、その他の楽器、声楽など「日頃のレッスンの成果をコア・ホールで発表してみたいなあ」とか「あの人に弾いてもらいたいなあ」など、自薦、他薦を聞いませぬ。お子さんからお年寄りまで是非ご応募ください。

連絡先：大垣(GPW TEL276-3878)

## 合唱団員募集

少年少女合唱団「風の子」

練習日時：第2、3、4土曜日1:00～2:30

場所：ベイトウン・コア

対象者：小学1年～6年生

会費：月額1,000円(入会金なし)

問い合わせ先：阿部 212-7378

## IT講座

パソコンの基本操作、インターネットの利用、Eメールの送受信の講習です。前期はベイトウンニュース6月号で募集が終了しておりますが、後期10月も予定があります。後期の募集もベイトウンニュース紙面でお知らせいたします。

混声コーラス「GAFU」

練習日時：第2、3、4土曜日3:00～5:00

場所：ベイトウン・コア

対象者：中学生～大人(男性、女性OK)

会費：月額1,000円(入会金なし)

問い合わせ先：浅見 213-0026 / 岩本 296-3881

## 「ディベート甲子園」観戦ツアー募集

幕張新都心は全国でも有名なディベートのメッカ。今年も神田外語大学には全国の中高生が集まり、ディベート甲子園優勝を目指して熱い戦いを繰り広げる。さあ、この戦いを目の前で観戦しよう。

日程：8月2、3日

場所：神田外語大学(自転車でいきます)

主催：寺子屋ベイトウン

連絡先・申し込み：松村(211-6853/mmatz@m2.pbc.ne.jp)

## ベイトウン・コアの投書箱から投書が紛失!

コアに設置してあったベイトウンニュースの投書箱から、投書が紛失する事件がありました。6月6日から7日の朝にかけての出来事ようです。本誌編集者が直前に、投書が入っているのを目撃しており、もし「自分が入れたものかもしれない」と心当たりのある方がいましたら、編集局員にご一報ください。

この事件をふまえ、投書箱を頑丈なものに作り替えました。

B

-

I

n

f

o

r

m

a

t

i

o

n

## Live garden MAKUHARI

場所はパルプラザ幕張中庭ビアガーデン特設ステージ

●9月12日(木) 18:30 開演

出演: ショーロ・クラブ & yae & 桑山哲也

●9月13日(金) 18:30 開演

出演: 大島保克ユニット

問い合わせ: 幕張メディアサーフィン (電話 212-0511)

千葉県企業庁地域整備部幕張新都心整備課 (223-3624)

### コア設置の投書箱を新調しました

仮置き状態だったベイタウンコアの投書箱を、この度新調しました。白地に、青い文字で『Baytown News』と書いてあるポストです。1階ロビーの、中庭に面した窓に沿って設置してありますので、皆さんご活用下さい。なお、これに伴い、これまでご愛用頂いたファミリーマート、ヤンマー、デイリーストア、リンコス設置の投書箱を撤去し、コア投書箱に一本化しますので、ご了承下さい。また、投書の際には、内容確認等の連絡ができるよう、必ず投書者の名前と連絡先を明記下さい。匿名希望の際には、その旨明記頂ければ、誌上では『匿名』として取り扱います。

### 都市公団からのお知らせ

6月～9月はダニに注意!!

今月からしばらく、毎日の生活の中で気を付けると便利なことについて書きます。今月は「ダニ対策」です。梅雨の時期、ダニが発生して私たちを困らせます。この時期に発生・繁殖する虫は大きく分けて二つあります。

① シロアリなど建物に損害を与えるもの

② ダニなど衛生害虫で暮らしの中で生理的に不快感を与えるもの

このうちカーペットやタタミでは②のダニの発生が問題になります。公団では建設時に敷く畳床に高周波の熱処理で虫や虫類の卵を死滅させています。しかし、新しいタタミのワラの芯には栄養物が残っている事があり、これに発生するカビを食べるダニが発生・繁殖することがあります。(タタミが古くなればこうした心配は無くなります)

食事やお菓子を食べこぼし、そのままにしておくこれがエサになってダニが発生する事になります。しかし、ほどよい温度と湿度(温度は25℃～30℃、湿度は70%～85%)の間でしかダニは発生しません。そこで注意点をまとめますと、

① 食べこぼしは丁寧に取り。

② 天気のよい日は各部屋の窓を開け放し換気・通気を十分に行う。

③ その際は収納類の扉や引き出しを開放し乾燥させる。

④ カーペットは敷き込んだままにせず、まくりあげて掃除機でよく吸い取る。

⑤ ふとん・毛布・敷物は日光乾燥させる。毛布にはカバーをかける。

⑥ 動かしやすい家具は時々動かして掃除する。

⑦ ベッド・マットレスもよく清掃する。

⑧ 市販の殺虫剤も効果的な防ダニ法になることです。

これらに留意して、梅雨時を快適に過ごしましょう。



賃貸住宅のお問い合わせは  
総合募集センター津田沼案内所  
TEL: 047-478-3711

公団住宅の駐車場のお問い合わせは  
日本総合住生活(株)千葉支店

# 都市公団

■6月5日、鹿島スタジアムでドイツ×アイルランド戦を見た。ドイツは持ち前の重厚な戦いを見せ、クローゼのあげた1点を守り抜くかには見えなかった。しかし、アイルランド代表もアイルランドサポーターもあきらめなかった。ロスタイム残り1分で、闘将カーンの手をはじく同点弾をロビー・キーンが決めると、その瞬間まで選手を信じて応援を続けたアイルランドサポーターが喜びを爆発させた。選手たちも駆け寄って、サポーターと一緒にまるで勝利したかのようなはしゃぎようだ。ドイツ側に座っていた私たちにも彼らの喜びがスタジアムをぐるっと回って波のように押し寄せてきた。

サポーターの期待を裏切らない、サポーターも選手を信じる…彼らの幸せな関係をちょっぴり羨ましく思いながらギネスで「乾杯!」。(その後、決勝トーナメントでスペインに敗退し、空港に降りたった選手たちを待っていたのも健闘を讃えるアイルランドの国民だった) 佐藤則子 (#3-310/T&F211-0090)

■いろんな会議を傍聴してきました。だいたい、クラブ加盟社、一般報道、一般傍聴と、三つの階層に分かれていて、資料の配布や座席の位置など扱われ方に差があります。でも、最近は一歩傍聴の格も上がってきています。堂本県知事肝いりの三番瀬再生計画検討会議では傍聴人も発言できます。これは、いい。公民館の運営懇談会もそういうのがいいですね。

茂木俊輔 (#7-305/T&F211-1066/m38032@pp.ij4u.or.jp)

■ワールドカップでは、スマートで格好良い日本選手に比べ、韓国の選手のがむしゃらで最後まで諦めない泥臭い姿勢に感嘆した。最初は日韓両国の共催にもかかわらず一体感が感じられなかったが、両国とも決勝トーナメントに進出したことで自然に連帯感が形成されたことが嬉しかったし、今後もこの雰囲気が続いてほしいと願っている。欧米の記者のコメントによると、彼らには日本人と韓国人の違いは見分けられなかったし、言語もイントネーションが似ているから同じように聞こえたという。要は違うと一生懸命感じているのは当事者達だけで、外からの目にはこんな風にしか見えないということだ。

金一剛 (#3-220/T&F211-0388/ikkim@cc.e-mansion.com)

■山一廃業で、この街にドタバタと越してきたのが…ちょうど4年前のワールド杯フランス大会日本戦があった6/28か6/29?の夜中。神戸の前の新浦安在住時(10年程前)に「幕張に、すごい街ができるらしい」と聞いていたのに、引っ越してきた当時は駅前も空き地が多く、街の中も西の街・東の街・CPWなども建っていないで「神戸よりも更地が多いかもしれない」と驚いたものです。しかし…あれから4年経ち、人口も増え、駅前もさまざまな建物が立ち活気づいています。さあ、次のドイツ大会の時には、この海浜幕張はどのような変貌をとげているのでしょうか?

浜田貴代子(公園東 atmark@pop01.odn.ne.jp)

■我らが日本代表の最後の試合であるトルコ戦を見終えて、「良くここまで来たな」という感慨と、「まだ何か足りない」という思いが残りました。そして、その夜の韓国vsイタリア戦を見て、何が足りなかったかを教えてもらいました。

板東司 (#1-210/T&F211-0289/tbando@cp.u-netsurf.ne.jp)

■6月になって街路樹のヤマモモに実がなった。この間は打瀬小学校の1年生が消防署近くのヤマモモの実を食べていた。ヤマモモの木にも実のなる木とそうでない木があるが、子どもたちは知っているようだ。ヤマモモは郷里の徳島ではよくとれる。子どもの頃は山の木に登り、この実をたらふく食べていた。郷里への想いもあってか、未だにこれこそ世界最高の味だと信じている。

松村守康 (#10-612/T&F211-6853/mmatz@m2.pbc.ne.jp)